

じれいほうこくかい ICT事例報告会

令和5年11月24日にICT事例報告会を行いました。スムーズな意思疎通が可能になることを目指し、重度の障害のある方がコミュニケーション手段としてICT機器を取り入れている、3名の方の事例を発表しました。練馬区内の生活介護施設や法人内施設から多数の職員が参加し、『勉強になった・自分の施設でも取り入れたい』などの感想をもらい、コミュニケーションの重要性を再認識した報告会となりました。理学療法士 小田 健治



けんしゅうほうこく 研修報告

令和5年度東京都障害者虐待防止・権利擁護の伝達研修を行いました。虐待とは『尊厳』『自立』『社会参加』を妨げる行為です。研修では、虐待に関するデータや法改正、対策等について学びを深め、私達支援者は、利用者を尊重し、支えている存在であることについて認識を共有しました。看護師 丸茂 晃平

へんしゅうこうき 編集後記

引っ越しを通じ、心機一転。私達は新たな気持ちで支援してまいります。弦間 智功

さくひんてん ふれあい作品展

練馬区役所本庁舎1階アトリウムにて、第13回障害者ふれあい作品展が開催されました。中途障害者通所事業・生活介護事業それぞれで作品を出展しました。日頃の成果を様々な人に見ていただく良い機会となりました。作品づくりは、作者が悩み考えながら、その手で作り上げた素晴らしさがあります。『作品から伝わる温かさが、見る人の心を動かすのかも』と、つばやいた利用者の言葉が心に響きました。また次回はどんな作品に出逢えるか楽しみにしています。

生活支援員 河相 一世・溝口 裕美



あいさつ ご挨拶

区立心身障害者福祉センターの改修のため一時移転となり、区立光が丘第七小学校跡施設に引っ越しました。光が丘病院の隣にある施設です。2月27日(火)より、新しい場所で活動・訓練を開始しています。光が丘の新しい環境、地域資源を活用しながら、ここでしかできない活動・訓練を取り入れて展開していきたいと考えています。令和7年10月以降に中村橋に戻ってくる予定ですが、その間、みなさんと一緒に光が丘の生活を楽しまれたいと思っています。今後とも、よろしくお願いいたします。施設長 今井 克

なかむらばし 中村橋マルシェ開催!

11月14日からの4日間、他者交流・社会参加の一環として区民センターの一角で「中村橋マルシェ」を開催しました。初めての企画で、今回は法人内施設の自主生産品を販売しました。自立訓練・地活Ⅲ型利用者は、ポスターや看板作りから販売までを訓練・体験の一環として、生活介護利用者は、新たな体験として取り組みました。開催期間中は地域の皆様に多数お越しいただきました。開催期間中は地域の皆様に多数お越しいただきました。今後も利用者の方々が地域の方々と交流を深められるよう努めてまいります。

第9号

令和6年3月発行
発行者：社会福祉法人東京援護協会
中村橋福祉ケアセンター

〒176-0072 東京都練馬区光が丘2-6-1

光が丘第七小学校跡施設

TEL 03-6904-0144 (生活介護事業)

03-6904-0145 (中途障害者通所事業)

FAX 03-6904-0140 (共通)

